

平成28年度

一般財団法人 道北地域旭川地場産業振興センター

事業報告

第1 基本方針

我が国の経済は、雇用・所得環境が改善し緩やかな回復基調が続いており、日銀旭川事務所も道北地域の景気は一部に弱めの持ち直しはみられるものの基調的には持ち直しているという全体感の中で、当財団においては新規事業や旭川市からの受託事業、貸館事業等において積極的に取り組み、基本方針を踏まえながら公益、収益に係る事業を展開してきた。

- (1) 地場産品PR事業や道の駅事業など、公益の増進に寄与する取組を積極的に推進するとともに、収益事業においては、積極的な営業活動や新規事業としての旭山動物園運営事業などにより収益の確保に努める。
- (2) 各テナントと連携し、「道の駅あさひかわ」の認知度や集客力の向上に努めるとともに、全国の道の駅との物産交流を通じ当駅の魅力をPRし、観光客や地元市民に愛される駅南エリア最大の賑わい拠点を目指す。
- (3) 各事業の推進にあたっては、目標値を定め常に改善・見直しを念頭に創意工夫をもって取り組むとともに、合わせて各種経費の削減を図りながら財政収支の改善に努める。

当財団の具体的な事業は、以下のように「公益に関する事業（地場産業・地域振興支援事業）」と「収益事業」「管理運営事業」と大きく3つに分けることができる。

<公益に関する事業（地場産業・地域振興支援事業）>

- (1) 施設提供事業
- (2) 地場産品PR事業
- (3) 道の駅事業

<収益事業>

- (1) 貸館事業
- (2) 取引斡旋事業

<管理運営事業>

以下、28年度に実施してきた各事業について詳述する。

第2 公益に関する事業（地場産業・地域振興支援事業）

1 施設提供事業

地場企業や業界団体の活動を支援・育成するため、地場企業が開催する会議及び研修等の場を低廉な使用料で提供した。

収入目標 3,598 千円に対する達成率は、98%で目標に若干及ばなかった。

施設使用料収入：3,530,640 円

施設利用状況：施設利用状況～別紙1

2 地場産品PR事業

(1) 展示会等開催事業

道北地域の地場産品や地域情報を広く販売・PRする展示会等の機会を創出し、地域産業や地域振興に取り組むほか新企画として全国の道の駅との交流を積極的に図るなど、出店者及び消費者双方のニーズに対応した新企画も好評を得た。

ア 「2016 春の地場産フェア」の開催

期 日：平成28年6月25日（土）・26日（日）の2日間

場 所：センター大展示場及び一部駐車場

出店者数：70 企業等（前年 85 企業等）

売上実績：12,652,446 円（前年 16,474,019 円）

入場者数：18,874 人（前年 24,529 人）

本フェアは、「留萌管内フェア」を併催した。

イ 「2016 道北の観光と地場産品フェスティバル」の開催

期 日：平成28年8月27日（土）～28日（日）2日間

場 所：センター大展示場及び一部駐車場

出店者数：73 企業，4 センター，1 県，5 道の駅
（前年 69 企業，3 センター，1 県）

売上実績：14,535,059 円（前年 16,212,887 円）

入場者数：24,835 人（前年 27,612 人）

本フェスティバルは、「宗谷管内フェア」を併催した。

ウ 「2016 上川収穫まつり」の開催

期 日：平成28年11月5日（土）・11月6日（日）2日間

場 所：センター大展示場及び一部駐車場

出店者数：49 農業者等（前年 38 農業者等）
売上実績：8,748,132 円（前年 7,495,325 円）
入場者数：18,861 人（前年 19,070 人）
本まつりは、「スイーツ&パンフェア」を併催した。

エ 「2016 冬の地場産フェア」の開催

期 日：平成 28 年 12 月 3 日（土）・4 日（日）2 日間
場 所：センター大展示場
出店者数：75 企業等（前年 83 企業等）
売上実績：14,982,014 円（前年 16,489,302 円）
入場者数：15,791 人（前年 16,888 人）

(2) 「北の恵み食べマルシェ」事業

「北の恵み食べマルシェ」実行委員会事務局をセンターに置き、その事務局長及び事務局員の職務を兼務しながら事務局の中核を担い、第 7 回目を成功に導き、多彩で豊かな道北地域の食産業及び食文化の創造・発展・発信に寄与した。

開催期間：平成 28 年 9 月 17 日（土）～19 日（月・祝）3 日間
場 所：J R 旭川駅前広場・買物公園・七条緑道・常磐公園
来場者数：1,035,000 人（前年 1,248,000 人）
売 上：197,449,336 円（前年 236,908,569 円）

※平成 27 年度は、シルバーウィークを活用し会場の一部（駅前広場から 3 条通）が 5 日間開催であった。

3 道の駅事業

(1) 基本的な取り組み

売店レイアウトの変更やテナントの入れ替え、また、「道の駅あさひかわの日」の制定にも取り組み、魅力度・認知度及び集客の向上に努めた。

また、利用者のために売店商品やフードコートメニューの見直しや防犯カメラの設置など施設環境の整備に取り組むとともに、旭川観光ボランティア協議会の協力のもと観光案内コーナーを充実させ、安全性・利便性とサービス向上に努めた。

平成 28 年度の来館者数は、道の駅リニューアル後 2 年以上経過したこともあり、5 月から 11 月のまでは前年減となる月が多く、12 月以降は前年増で推移したが目標の 100 万人は達成できず、対前年比 2%減の 770,597 人となった。（前年 784,937 人）

年度別入館者数推移～別紙 2

なお、観光案内コーナーの設置状況は次のとおりである。

期 間：平成 28 年 4 月～11 月（活動日数 113 日）

協 力：（一社）旭川観光コンベンション協会，旭川観光ボランティア
協議会

対応件数：延べ 4,021 件 4,834 人（前年 3,935 件 5,894 人）

(2) その他

ア 北海道地区「道の駅」スタンプラリーへの参加

期 間：平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月

応募者総数：5,745 件（当駅での応募者数 280 件）

（前年 6,881 件，当駅 378 件）

イ 上川中南部地域「道の駅」スタンプラリーへの参加（対象 6 駅等）

期 間：平成 28 年 11 月～平成 29 年 3 月

応募者総数：385 件（当駅での応募者数 113 件）

（前年 489 件，当駅 128 件）

ウ 会議関係

① 北海道地区「道の駅」連絡会への参加

平成 28 年 11 月 25 日（金）ブロック別担当者会議 旭川市

② 上川中南部地域「道の駅」連携会議への参加

平成 28 年度中に 10 回開催

第 3 収益事業

1 貸館事業

大展示場の利用拡大を目指して、積極的な営業活動を行い使用料収入の確保に努めるとともに、地場企業や地場製品の PR 並びに消費者の誘導を図り、地域経済の活性化に取り組んだ。

事業計画では、大展示場利用率 65%以上、大展示場使用料及び貸事務所等収入 46,135 千円を目標に掲げ事業を推進した結果、利用率は目標に及ばなかったものの昨年度を約 3%上回り、使用料収入は目標を上回った。

大展示場の利用については、継続的な営業により新規企業の催事開催に結びつくなど今後も利用向上に向け更なる営業努力が必要とされる。

施設使用料収入： 47,168,912 円

施設利用状況：施設利用状況～別紙 1

大展示場利用率： 62.1%（前年 58.9%）

大展示場利用件数： 72 件（前年 69 件）

なお、スポーツ利用への貸出実績は以下のとおりであるが、使用料収入は上記の施設使用料に含まれており、利用件数は上記件数の外数となっている。

主な利用者：旭川商業高等学校，旭川東高等学校，市内テニス愛好者，
大雪ボーイズ（少年野球）等

利用件数： 91 件（前年 105 件）

2 取引斡旋事業

(1)カタログ販売等

贈答品シーズンに合わせ、地場企業と連携してカタログ（春企画，中元期，歳暮期の 3 回実施）による地場産の宣伝普及と販売に努めるとともに、市場開拓クラスター構築事業との連携により全国道の駅交流や物産展に出店した結果、対前年を上回った。

売上実績等：24,493,885 円（前年 23,510,281 円）

販売先：個人顧客（DM），G 7 食品システム，トシングループ
旭山動物園くらぶ他

(2)ふるさと納税事業（旭川市受託事業）

平成 27 年度からの継続事業として、旭川市から「ふるさと納税」に関するお礼の品の企画及び選定等の業務を受託し、旭川市の魅力を伝えるとともに地場産品の宣伝普及等に努めた。

平成 28 年度は、お礼品区分の変更及び返礼品を増やしたこと等から、受注件数、金額ともに前年を大きく上回った。

実施期間 平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日

取扱事業者 23 社（前年 17 社）

取扱品数 64 点（前年 32 点）

受注件数 5,204 件（前年 2,737 件）

受注金額 39,207,939 円（前年 17,279,659 円）

受託料 609,940 円（前年 949,860 円）

3 旭山動物園正門売店運営事業

平成 28 年度から新たに旭山動物園正門売店運営事業者となり、国内はもとより世界各国からの来園者に対し、魅力的な地場産品の販売とサービスの提供を通じ、需要の開拓と事業収益の確保に努めた結果、販売額及び事業収益とも目標を上回った。

販売目標：59,500 千円

売上実績：60,115,022 円

取扱品数：501 点

取扱企業：18 社

4 市場開拓クラスター構築受託事業（旭川市受託事業）

平成28年度新規事業として旭川市から受託し、道北地域の地場企業を対象とした販路開拓支援機能を構築し、道外の道の駅との相互交流などの連携による市場形成に向けた取り組みを推進した。

なお、本事業については、平成29年度においても継続して受託し、更なる市場形成に取り組む。

実施期間 平成28年4月1日～平成29年3月31日

取扱事業者 51 社

取扱品数 168 点

販売金額 8,746,543 円

受託事業費 5,397,840 円

交流道の駅等

- ・道の駅「許田」（沖縄県）他 8 駅
- ・NECライベックス他 社

第4 管理運営事業

1 一般財団法人としてのガバナンスの向上等

平成25年4月1日付で一般財団法人に移行し、改革の趣旨である法人組織のガバナンスの向上、民の立場から公益の増進に寄与するとともに、認可された公益目的支出計画の達成に努めた。

2 施設の維持・管理

施設を安全かつ快適に利用できるよう管理、点検、修繕に努めた。

主な修繕等：防犯設備（防犯カメラ）設置

3 人件費等支出の抑制

センターの厳しい経営状況を克服するため、27年度に引き続き、職員給与の削減、時間外手当の縮減等を行い、人件費等の抑制を図った。

4 各種会議の開催・参加等

(1) 理事会

ア 平成 28 年度第 1 回定例理事会の開催

期 日：平成 28 年 6 月 2 日（木）

議 案：①平成 27 年度事業報告について
②平成 27 年度決算について
③平成 27 年度公益目的支出計画実施報告書について
④平成 28 年度定時評議員会の開催日時及び場所並びに
目的である事項について

イ 平成 28 年度第 2 回定例理事会の開催

期 日：平成 29 年 2 月 17 日（金）

議 案：①平成 29 年度事業計画について
②平成 29 年度収支予算について
③平成 28 年度第 1 回臨時評議員会の開催日時及び場所並びに
目的である事項について

ウ 平成 28 年度第 1 回臨時理事会の開催（みなし決議）

期 日：平成 29 年 3 月 23 日（木）

議 案：一般財団法人道北地域旭川地場産業振興センター専務理事
の選定について

(2) 評議員会

ア 平成 28 年度定時評議員会の開催

期 日：平成 28 年 6 月 29 日（水）

議 案：①平成 27 年度事業報告について
②平成 27 年度決算について
③平成 27 年度公益目的支出計画実施報告書について
④評議員の選任について

イ 平成 28 年度第 1 回臨時評議員会の開催

期 日：平成 29 年 3 月 8 日（水）

議 案：①平成 29 年度事業計画について
②平成 29 年度収支予算について
③理事の選任について
④監事の選任について
⑤評議員の選任について
⑥一般財団法人道北地域旭川地場産業振興センター役員及
び評議員の報酬等支給に関する規則の一部改正について

- (3) あさひかわ海外経済交流推進委員会への参加
- (4) 旭川食品産業支援センターへの参加
- (5) 旭川地域産品マーケティング支援事業実行委員会への参加
- (6) あさひかわ推進法人連絡協議会への参加

5 評議員及び役員（平成29年3月31日現在）

- (1) 評議員 10名
- (2) 理事 10名（うち理事長・副理事長・専務理事各1名）
- (3) 監事 2名

6 事務局体制（平成29年3月31日現在）

- ・常勤役員（専務理事）1名
- ・事務局員8名（嘱託職員含む）

平成28年度事業報告の附属明細書について

「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する事業報告の附属明細書として記載すべき「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。